

事務事業評価表（令和2年度の実績評価）

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

手 段	①事務事業の概要（事務事業の全体像） 県主催のスポーツ大会に参加 ・ゆうあいスポーツ大会として実施してきたが、令和2年度より障害者スポーツ大会レクリエーション競技として9月に開催される。 ・身体障害者スポーツ大会として実施してきたが、令和2年度より障害者スポーツ大会陸上競技として5月に開催される。体力の維持増強を図り、自立と社会参加を促進するとともに、市民の障害者に対する理解と認識を深め、交流を広めることを目的とする。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ①大会開催に向けた事前打合せ会議への出席。②大会への参加者を市広報紙やホームページを通じて募集をする。③申請の受付。④バス申込。⑤保険の申請。⑥運営スタッフとして大会開催準備、会場準備。⑥大会当日の同行、昼食・飲み物の配布。

①手段 （担当者の活動内容）	④活動指標 （活動量を表す指標）	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策のため、未開催	申請者数	人	4.00	4.00	30.00	30.00	30.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 （誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標 （対象の大きさを表す指標）	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
身体障害者、療育手帳所持者	身体障害者手帳所持者数	人	1,644.00	1,686.00	1,700.00	1,700.00	1,700.00
	療育手帳所持者数	人	414.00	426.00	430.00	430.00	430.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 （この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標 （対象における意図の達成度を表す指標）	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
スポーツを通して、障害者同士の交流、また機能の回復、体力の維持増進が図られる。	参加者数	人	4.00	0.00	30.00	30.00	30.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

[illegible]

事務事業名	障害者スポーツ大会事業	事務事業No.	10503000487	所属課	社会福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 県主催の障害者に対するスポーツ大会への参加。参加者が高齢化し、それに伴い減少してきている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ バスから駐車場までの距離があるので、バスが近くに駐車できるようにしてほしいとの要望がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
現状維持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） ☒ 結びついている 障がいのある人の自立、社会参加の促進につながっている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） ☒ 妥当である 障がい者スポーツの振興を図ることにつながっているため、公共関与は妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） ☒ 向上余地がない 広報やホームページで参加を募っているが、参加者は毎年同じくらいの人数である。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） ☒ 影響有 自立と社会参加の機会が減少してしまう。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） ☒ 具体的な手段、事務事業名 ☒ 余地がない 市主催では運営が困難なため、県主催のスポーツ大会に参加することで、社会参加の機会を確保する。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） ☒ 削減余地がない 事業費は、スポーツ大会参加のための最小限の状況である。人件費についても、大会開催に向けた事前打ち合わせ会議への出席、バスの同行や現地での準備や当日の担当業務等があるので、最小限の状況である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） ☒ 公正・公平である 対象者は、身体障害者手帳・療育手帳所持者であり、等級に定めはないので公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇒	障がい者間、又は保護者間の交流も深められ、スポーツを通じて体力や機能の回復も見込まれる。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う ☒ 現状維持 ☐ 廃止 ☐ 休止		（複数回答可） ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持			×																				
	低下		×	×																				
		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果	④																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）	
課長確認後の評価 ☒ A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出		確認欄 ☐	